

東朽網校区の元気プラン

2024～2028



敬老会



交通安全教室



健康講座

住民発！

東朽網校区 小地域福祉活動第一次計画



認知症研修会



地域交流活動



ふれあいネットワーク

東朽網校区社会福祉協議会

ごあいさつ

東朽網校区では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民や公私の社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。

特に北九州市で平成5年に開始されたふれあいネットワーク活動にも平成6年より取り組み、「さまざまな世代が交流しともに支え合い 安心して健康に暮らせるまち 東朽網」をスローガンの下、「見守り・話し合い・助け合い」の活動を中心に小地域福祉活動を進めてきました。



今後、地域福祉活動をより進めていくために、もう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。そこで北九州市社協の地域福祉活動計画と整合性を持ちながら、新しい小地域福祉活動計画を策定しました。

この計画の策定にあたり関係者の皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

東朽網校区社会福祉協議会
会長 青木 孝夫

—— も く じ ——

ごあいさつ

第1章 計画策定にあたって …… 1P

1. 計画の性格
2. 計画の期間
3. 計画の策定経過

第2章 東朽網校区の現状と課題 …… 2P

1. 地域の特性や福祉課題
2. 人口・世帯数・高齢化率
3. 社会資源

第3章 計画体系 …… 3P

1. 基本理念
2. 実施項目（体系図）
3. 重点実施項目

第4章 計画の推進 …… 6P

1. 計画の承認と周知
2. 計画を推進するための体制
3. 第二次計画の策定
4. 東朽網校区小地域福祉活動計画推進委員会委員名簿
5. 東朽網校区小地域福祉活動計画の策定状況

第 1 章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、東朽網校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、東朽網校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 東朽網校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和 6 年度～令和 10 年度までの 5 か年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

東朽網校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、東朽網校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。令和 5 年 9 月 25 日に立ち上げた同委員会において、10 名の委員により 8 回に及ぶ協議の上、東朽網校区小地域福祉活動計画を策定しました。
(参考資料を参照)

第 2 章 東朽網校区の現状と課題

1 地域の特性や福祉課題

東朽網校区は、小倉南区の東の端に位置し、水晶山、昭和池、朽網川、朽網川河口と豊かな自然に恵まれる地域で、朽網川河口ではカブトガニの産卵や野鳥がみられる曾根干潟へと続いています。

校区内には学校や市民センター、医療機関等の社会資源は充実しています。コンビニは点在していますが、スーパー等の商店が無く、交通の便についても JR 朽網駅近辺以外は、路線バスの運行本数の減少や路線バスの通っていない地域もあり、買い物や通院などに不便さも見受けられます。

高齢化も進んできており、世帯構成についても高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が占める割合が高い地域です。

東朽網校区では平成 6 年よりふれあいネットワーク活動が展開されています。しかし、少子高齢化の影響で校区内の高齢化率も上昇しているため、福祉協力員等の福祉活動者の平均年齢も高く、福祉協力員やニーズ対応員などの負担が大きくなってきています。そのために校区内では福祉活動者の早急な育成が求められています。

2 人口・世帯数・高齢化率

	2003 年 (平成 15 年)	2013 年 (平成 25 年)	2023 年 (令和 5 年)
人口	4,667	4,496	4,613
世帯数	1,696	2,004	2,314
高齢化率	15.8%	24.3%	31.5%

(各年、3 月 31 日現在 住民基本台帳より)

3 社会資源

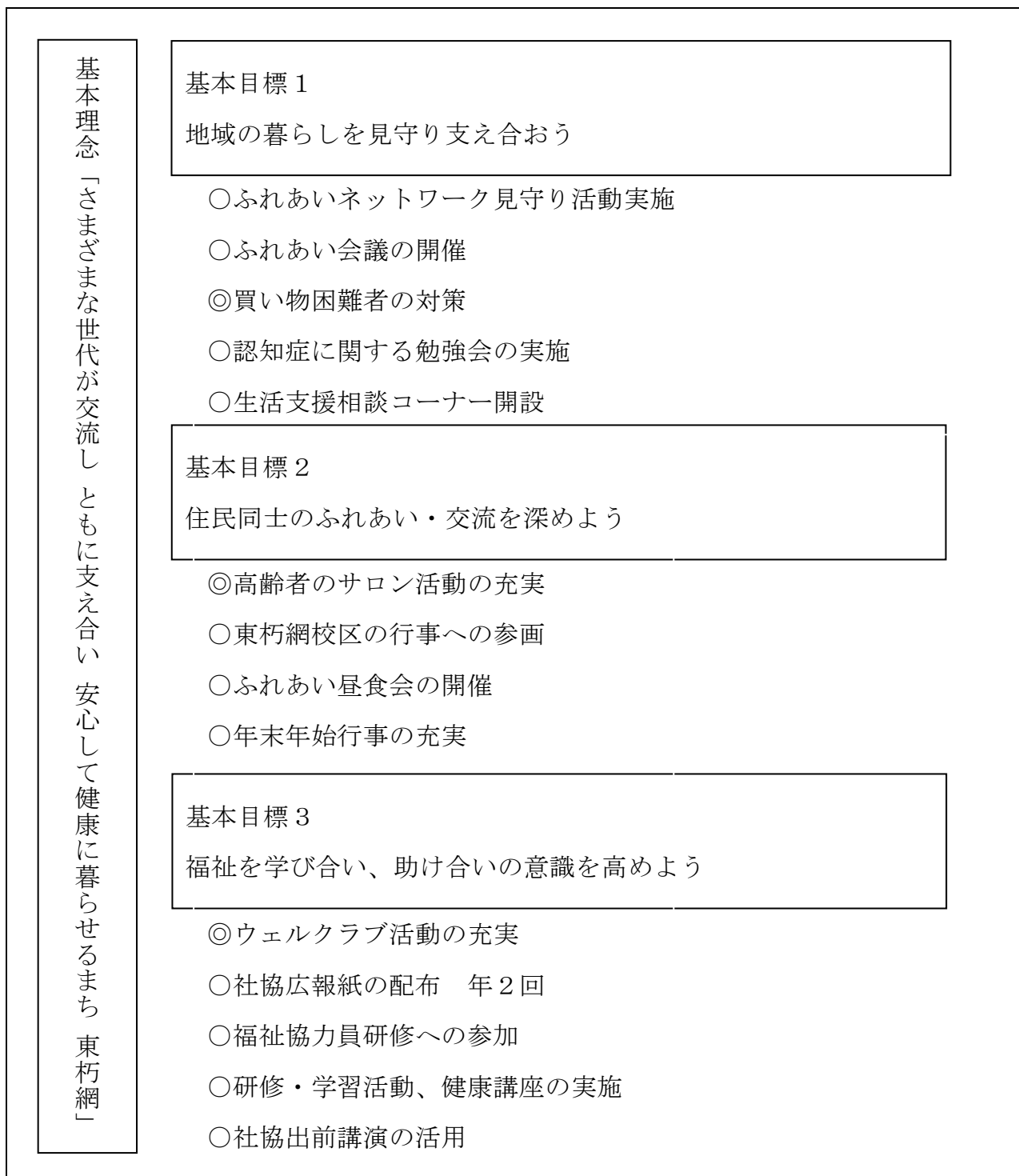
小学校	東朽網小学校
中学校	南曾根中学校
福祉施設	周防学園グループホーム「ラポールくさみ」
医療機関	くさみ医療村(松原整形外科、たけ皮膚科、ひだ歯科口腔外科、にしだ眼科、日野内科胃腸科) しまだ歯科クリニック、武田歯科、湯川整骨院朽網院
主な商店等	セブンイレブン 小倉くさみ店、セブンイレブン 北九州臨空産業団地入口店、セブンイレブン 小倉くさみ駅前店、セブンイレブン TOTO 小倉第 2 工場新 E 棟店、ミニストップ 小倉朽網東店、ハンズマン
協力施設	東朽網市民センター、くさみ幼稚園、朽網保育園、TOTO 小倉第 2 工場
協力団体	東朽網小学校 PTA、南曾根中学校 PTA、東朽網放課後児童クラブ、
その他	朽網簡易郵便局

第3章 計画体系

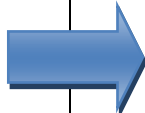

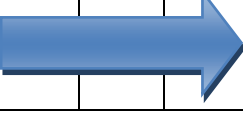
1. 基本理念「さまざまな世代が交流し ともに支え合い 安心して健康に暮らせるまち 東朽網」





東朽網校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そこで「さまざまな世代が交流し ともに支え合い 安心して健康に暮らせるまち 東朽網」という言葉を計画の基本理念として、「支え合うしくみづくりを見直し、人材育成を強化する」事を推進していきます。



2. 実施項目（体系図） ◎…重点項目



3 重点実施項目

重点実施項目 1		買い物困難者への対策					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
東朽網校区では R3 年 12 月に駅前スーパーの閉店に伴い、コンビニが点在するのみになった。隣の校区のスーパーまでは、歩いて通うには距離があるため、頻繁に通うことが難しい。公共交通機関についても、十分とは言えない状況である。							
2 活動の方針・目標							
住民が通いやすい場所にて「ふれあい朝市」や「大型スーパーの移動販売」を定期的で開催する。その他の買い物支援などを検討する。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
ふれあい朝市や大型スーパーの移動販売開催の検討・実施準備	区社協 市社協 企業 商店街						毎月 2 回の定期開催
ふれあい朝市の開催							
大型スーパーの移動販売の実現							

重点実施項目 2		高齢者のサロン活動の充実					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
東朽網校区では高齢化率が 31.5%と高く、全 4,600 人中 1450 人が高齢者である。閉じこもりの生活をしている方も少なくないため、福祉協力員による見守り対象の高齢者の間でも「話相手が欲しい」との要望が多く聞かれるようになっている。							
2 活動の方針・目標							
高齢者の生きがいづくりを支援できるようなサロンを校区内の町内毎に設置する。サロンにおける活動内容はそれぞれ地域の実情に合わせたものとする。まず現在あるサロンをモデルサロンとして、地域のニーズに応じたサロンを設置していく。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
サロンの設置準備 (担い手の養成、メンバーの募集、場所の確保、活動内容検討)	市民センター 区社協 民児協 自治会 老人クラブ 行政						毎月 1 回の定期開催 各町内の参加者 10 名以上
サロンの設置・運営							
サロンの点検・評価	区社協 市社協						

重点実施項目 3	ウェルクラブ活動の充実						
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
福祉協力員をはじめとする活動者の後継者不足は慢性的な課題である。将来の担い手として、子ども世代に福祉の視点を涵養するとともに、その親世代にも社協活動を知ってもらうことが必要である。							
2 活動の方針・目標							
校区内の高齢者への訪問やプレゼント作成、メッセージ書き、社協行事の参加など、取り組みやすい内容からウェルクラブ活動を実施し、充実を図っていく。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	5年後の達成目標
ウェルクラブ活動内容の検討	市民センター 区社協 民児協 自治会						参加者 30名
ウェルクラブ活動の広報・実施・運営	学校 放課後児童クラブ						

第4章 計画の推進

1 計画の承認と周知

- ① 東朽網校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画を実施する上で必要な関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ ホームページやSNSを通じた校(地)区住民への周知
その他、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

- (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置
計画を推進していくために、東朽網校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、必要に応じ、以下のような計画の進行管理を行います。
 - ① 関係機関・団体との連携
 - ② 計画内容の具体的な計画、実施
 - ③ 進行管理の実施
- (2) 計画の評価
計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間に第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けて協議を進めていきます。

4 東朽網校区小地域福祉活動計画推進委員会委員名簿

番号	役職	氏名	選出団体名
1	会長	青木孝夫	
2	副会長	久野正敏	東朽網神幸奉賛会
3	監事	廣瀬敏夫	
4	監事	利光直子	
5	理事	岡田賢彦	体育委員会
6	理事	植山さち子	民生委員児童委員
7	理事	川江享子	民生委員児童委員
8	理事	芳川豊子	民生委員児童委員
9	理事	西田今津子	民生委員児童委員
10	理事	利光央	まちづくり協議会・自治連合会
11	理事	森十四子	放課後児童クラブ運営委員会
12	理事	緒方雄二	体育委員会
13	理事	浦本あゆみ	校区子ども会
14	理事	藤田理	中学校PTA
15	理事	谷村広宣	小学校PTA
16	理事	片山真由美	主任児童委員
17	理事	小田仁幸	老人クラブ連合会
18	理事	犬塚節子	ふれあいネットワーク委員会
19	事務局長	中村孝	市民センター
20	事務局員・会計	園田幸恵	主任児童委員
21	事務局員	幾野由美子	ふれあいネットワーク委員会
22	事務局員	片山みづえ	ふれあいネットワーク委員会
23	相談役	山口正勝	

5 東朽網校区小地域福祉活動計画の策定状況

回	開催日	参加人数	主な協議事項
1	令和5年 9月 25日	4人	役員会 1 計画策定、打ち合わせ
2	令和5年 10月 5日	6人	役員会 1 重点実施項目の決定 2 策定委員会メンバーについて
3	令和5年 10月 10日	5人	策定委員会 1 小地域福祉活動計画について
4	令和5年 11月 5日	9人	策定委員会 1 基本実施項目の決定
5	令和5年 12月 11日	9人	策定委員会 1 内容決定 2 今後のスケジュールについて
6	令和6年 1月 18日	10人	策定委員会 1 計画書の校正 2 計画書の印刷について 3 今後のスケジュールについて
7	令和6年 1月 23日	31人	校区合同定例会 1 計画書の意見聴取
8	令和6年 2月 22日	18人	校区小地域福祉活動計画推進委員会 1 計画書の承認

策定委員

青 木 孝 夫	犬 塚 節 子
久 野 正 敏	中 村 孝
園 田 幸 恵	池 部 智 美
片 山 み づ え	大 矢 剛
幾 野 由 美 子	村 田 礼 子

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』 (Petit vo saurus)

Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)

東朽網校区社会福祉協議会

〒800-0231 北九州市小倉南区大字朽網 1215-1 東朽網市民センター内
TEL 093-475-8861 FAX 093-475-8862

小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園 5 丁目 1 番 2 号
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号ウエルとばた内
(代 表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351
<http://www.kitaq-shakyo.or.jp/>